

# バーコードリーダー

## 設定用バーコード 増補版

第1版

Rev1.9

### 対象機種

型式	インターフェース
AC-700U	USB キーボードインターフェース
AC-700K	PS/2 キーボードインターフェース
AC-800U	USB キーボードインターフェース
AC-800K	PS/2 キーボードインターフェース
AC-900B-U	USB キーボードインターフェース
AC-900B-K	PS/2 キーボードインターフェース

## 目次

はじめに 本書について	1	バーコードの読取条件	15
あらかじめご承知いただきたい事項	1	UPC-A	15-16
改訂履歴	1	UPC-E	17-18
設置方法	2	EAN-13, JAN-13	19-20
USB の接続	2	EAN-8, JAN-8	21-22
動作環境	2	Code39	23-24
接続の概要	2	Inter leaved2of5, ITF	25-26
接続の方法およびドライバのインストール	2	NW-7 (Codabar)	27-29
WindowsXP/2000/Me	2	Code128	30
Windows98SE	3	前置文字/後置文字/ プリフィックス/サフィックス	31-32
接続とドライバをインストールした後の確認	3	データの挿入	33-36
動作確認	3	アスキーコード表	37
設定の手順 (フローチャート)	4	16 進/10 進数値	
設定の手順の例	5	設定開始/設定終了/セット	38
データを出力する順番	6	付録	
初期設定の内容	7	1. 推奨する設定 (出荷時設定)	39
設定用バーコード	8	2. よく使う設定の例	40
設定開始/設定終了	8	3. FullAscii Code39	
初期化	8	表	
設定中止	8	制御コード サンプルバーコード	
動作環境	9	4. Code128	
端末の種類	9	制御コード サンプルバーコード	
CapsLock	9		
キーボードレイアウト	9		
ファンクションキー変換	9		
キーボード検査 (ノート PC 用)	10		
スキャナー制御 (1)	11		
起動時の音	11		
起動時の自動トリガー	11		
正読表示 LED	11		
正読通知ブザー	11		
スキャナー制御 (2)	12		
スキャニング・モード	12		
スキャナー制御 (3)	13		
コード識別子の付加	13		
コード識別子の位置	13		
読み取り一致 (照合設定)	13		
スキャナー制御 (4) (値設定)	14		
ブザー音量	14		
ブザー時間	14		
正読待ち時間	14		
正読遅れ時間	14		
アドオンの待ち時間	14		
読み取り一致回数 (照合回数)	14		

## はじめに 本書について

- ・ 本書はバーコードリーダーAC シリーズ\*「取扱説明書」に記載された設定用バーコードのほかに、各種の出力データを編集する設定メニューを記載しています。
- ・ 本書では、システムの開発者向け、管理者向けの設定を記載しています。基本的な設定（一般使用者向け）は取扱説明書の設定用バーコードで設定が可能です。
- ・ 出力データの編集は、用途に適切な内容を確認の上、充分にご注意して設定を行って下さい。不要な設定を行うと、出力先のホスト（パソコンのアプリケーションソフトなど）に適切なバーコードデータが出力されないことがあります。

\* AC シリーズ : AC-700U、AC-700K、AC-800U、AC-800K、AC-900B-U、AC-900B-K  
(AC-880-USB は上記シリーズと設定が一部異なりますので本書を使用しないでください)

## あらかじめご承知いただきたい事項

- ・ 本書の製本版は配布しておりません。

## 改訂履歴

第1版	設定用バーコードメニュー 作成
Rev1.5	文書改訂
Rev1.6	動作環境(1) Capslock に「Alt+Keypad モード」を追加。 動作環境(2) 「数字キー出力の位置」を追加。
Rev1.7	スキャナー制御(3) 読み取り一致(照合設定)を追加。 スキャナー制御(4) 読み取り一致回数(照合回数)を追加。
Rev1.8	スキャナー制御(4) 読み取り一致回数(照合回数)を訂正。
Rev1.9	動作環境に Windows 7 を追記

## 設置方法

### USB (AC-XXX-U) の接続

#### 動作環境

コンピュータ	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V マシン)
OS	Windows 7(64 ビット, 32 ビット) / Vista /XP/2000/Me/98SE
接続するポート・コネクタ	USB(USB ver1.1 または USB2.0)、USB-A コネクタ
制限事項	USB インターフェースは全ての環境での動作を保証するものではありません。 WindowsNT/95 は USB をサポートしていませんので動作しません。

#### 接続の概要

<p>コンピュータの起動 ▽ AC-XXX-U の接続 ▽ ドライバのインストール Windows7/Vista/XP/2000/Me : OS が自動インストールします Windows98SE : マウスとキーボードを使用してインストールウィザードを操作します ▽ 接続 (セットアップ) の完了</p>
---

#### 接続の方法 および ドライバのインストール

ドライバ	USB HID(ヒューマンインターフェース)クラスドライバ
ドライバの場所	USB HID クラスドライバはコンピュータ (Windows) のハードディスク内のシステムフォルダに格納されています。 製品にドライバの CD-ROM などは同梱されていません。 コンピュータの状態によっては、OS の CD-ROM が必要になります。

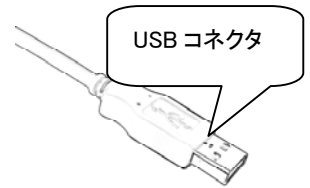
#### Windows 7/Vista/XP/2000/Me

- (1) スキャナーの USB コネクタをコンピュータの USB コネクタへ接続します。  
コンピュータ本体の USB コネクタに直接接続してください。
- (2) スキャナーに電源が入ります。  
起動時のブザー (メロディ) が鳴ります。  
起動時のブザーは鳴らさないように設定を変更できます。  
設定の変更はドライバのインストールが完了してから行ってください。
- (3) Windows が自動的に USB ドライバのインストールを開始します。
- (4) コンピュータの画面に、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と表示されるまでお待ちください。表示されると、ドライバのインストールは完了です。



## Windows98SE

- (1) スキャナーの USB コネクタをコンピュータの USB ポートへ接続します。  
コンピュータ本体の USB コネクタに直接接続してください。
- (2) スキャナーに電源が入ります。  
起動時のブザー（メロディ）が鳴ります。  
起動時のブザーは鳴らさないように設定を変更できます。  
設定の変更はドライバのインストールが完了してから行ってください。
- (3) コンピュータの画面に「ドライバの接続ウィザード」ダイアログ画面が開きます。  
「このデバイス用の新しいドライバを探しています。しばらくお待ち下さい」というメッセージが表示されたら「次へ」をクリックします。
- (4) 「検索方法を指定して下さい」と表示されたら  
「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をチェックし、「次へ」をクリックします。
- (5) ドライバの検索先指定ダイアログが表示されます。  
「検索場所の指定」をチェックし、白い枠内に半角で「C:\WINDOWS\INF」と入力します。  
入力したら「次へ」をクリックします。
- (6) 「USB ヒューマンインターフェースデバイス」「このデバイスに最適なドライバをインストール準備ができました」と表示されたら「次へ」をクリックします。
- (7) 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら「完了」をクリックします。  
ドライバのインストールが完了します。



**備考** パソコンの環境によっては、OS (Windows98SE) の CD-ROM を求めるメッセージが表示されることがあります。あらかじめ OS の CD-ROM をご用意ください。

## 接続とドライバをインストールした後の確認

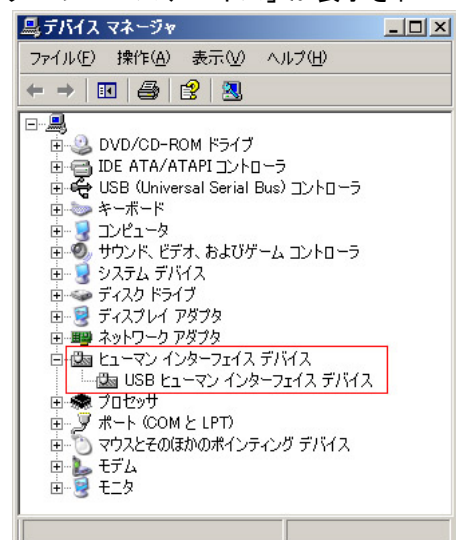
- (1) スキャナー側面のトリガースイッチを押して、読み取り窓から赤い走査ライン（赤色 LED）が投光されることを確認してください。
- (2) Windows がスキャナーを認識していることを確認します。  
Windows のタスクバー-[スタート]-([設定)]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を開きます。
- (3) 「ヒューマンインターフェースデバイス-USB ヒューマンインターフェースデバイス」が表示されていることを確認します。

**備考** AC-XXX-U 以外に、USB キーボードや USB マウスを接続していると、複数の USB ヒューマンインターフェースデバイスが表示されます。

## 動作確認

Windows の「メモ帳\*」などを起動し、バーコードを読み取って画面にバーコードデータが表示されることを確認してください。動作を確認したら、必要に応じてスキャナーの設定を変更し、操作を開始して下さい。

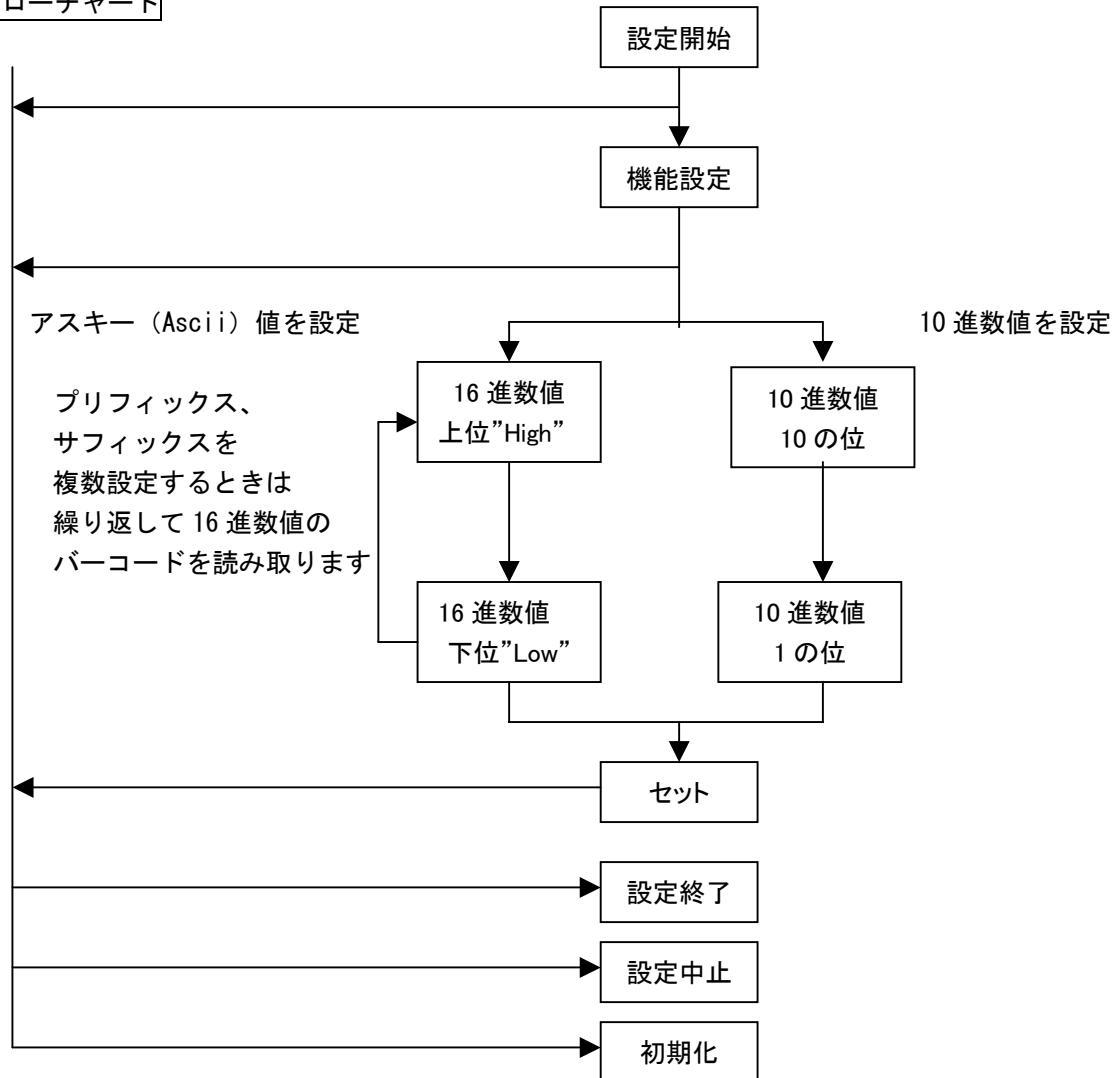
\*起動方法:スタート-(すべての)プログラム-アクセサリ-メモ帳



## 設定の手順（フローチャート）

「設定用バーコード」を読み取る順番は、フローチャートに示す通りです。

### フローチャート



## 設定の手順の例

### 例 1

Code39 で 1 桁のバーコードを読ませるために、**最短の読み取り桁数**に “01” を設定します。  
 ※初期設定は 4 桁以上の Code39 を読み取ります (最短の読み取り桁数の値が 04)。

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了 (16 進/10 進数値のページにも記載)	設定開始
2	バーコード読み取り条件-Code39	最短の読み取り桁数
3	16 進/10 進数値	“0”
4	16 進/10 進数値	“1”
5	16 進/10 進数値	セット
6	設定の開始と終了 (16 進/10 進数値のページにも記載)	設定終了

### 例 2

スキャナーのスキャンング・モードを**連続読み取り**に設定します。  
 ※初期設定は「タイムアウト・オフ」の設定です

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了	設定開始
2	スキャナ制御-スキャンング・モード	連続読み取り
3	設定の開始と終了	設定終了

### 例 3

**プリフィックス** 1 つ目にアスキー文字 “A” (アスキーコード 0x41) を設定します。  
**プリフィックス** 2 つ目にアスキー文字 “B” (アスキーコード 0x42) を設定します。

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了 (16 進/10 進数値のページにも記載)	設定開始
2	プリフィックス	付加する
3	プリフィックス・データ	データ
4	16 進/10 進数値	“4”
5	16 進/10 進数値	“1”
6	16 進/10 進数値	“4”
7	16 進/10 進数値	“2”
8	16 進/10 進数値	セット
9	設定の開始と終了 (16 進/10 進数値のページにも記載)	設定終了

## データを出力する順番

前置文字、後置文字、プリフィックス、サフィックス、コード識別子、バーコードデータの出力順を下記の「データ出力順の表」に示します。

データ出力順の表

(左側が先頭)

設定項目	出力データ								
	前置文字 Preamble		プリフィックス Prefix	コード 識別子 CodeID	バーコード データ	コード 識別子 CodeID	サフィックス Suffix	後置文字** Postamble	
	Data0	Data1		Data		Data		Data0	Data1
桁数	1	1	0-15	1(2)*	-	1(2)*	0-15	1	1
設定の例									
設定する値	00	00	41 42 43	4D			31 32 33	0D	0A
アスキー	Null	Null	ABC	M		(無し)	123	CR	LF
キー出力	無し	無し	ABC	M	1234ABCD	(無し)	123	ENTER	

\*コード識別子 

出力する位置はバーコードデータの前か後のどちらか一方です。

設定によって変更します。初期設定は、「出力しない」、「バーコードデータの前」です。

UPC-A と EAN-8 のコード識別子については、設定できる桁数は2桁です。

\*\*後置文字

製品添付の「取扱説明書」の「末尾コード」に相当するユーザー設定エリアです。



## 初期設定の内容

### 動作環境設定

項目	初期設定
端末の設定	IBM PC/AT 互換機
CapsLock	英大文字
キーボードのレイアウト	USA キーボード
ファンクションキー変換	変換しない

### スキャナー制御

項目	初期設定
起動時の音	鳴らす
起動時の自動トリガー	無効
正読表示 LED	点灯する
正読通知ブザー	鳴らす
スキャニング・モード	タイムアウト・オフ
コード識別子の付加	付加しない
コード識別子の位置	バーコードの前
読み取り一致	禁止（注：製品出荷時は許可に設定済み）

### 値設定

項目	値	内容
ブザー音量	05	レベル 5
ブザー時間	06	6 ミリ秒
正読待ち時間（スタンバイ・タイム）	15	15 秒
正読遅れ時間	05	50 ミリ秒
アドオンの待ち時間	50	500 ミリ秒
読み取り一致回数	01	1 回

バーコード読み取り条件 詳細な設定項目はそれぞれのバーコード読み取り条件のページをご覧ください。

バーコード規格	コード読み取り	読み取り桁数		コード識別子	
		最短	最長	文字	値
UPC-A	読み取る	-	-	A	41 (0x41)
UPC-E	読み取る	-	-	E	45 (0x45)
EAN-13 , JAN-13	読み取る	-	-	F	46 (0x46)
EAN-8 , JAN-8	読み取る	-	-	FF	46 (0x46) 46 (0x46)
Code39	読み取る	0	0	M	4D (0x4D)
Interleaved 2 of 5	読み取らない	6	0	I	49 (0x49)
NW-7 (Codabar)	読み取る	4	0	N	4E (0x4E)
Code128	読み取る	0	0	K	4B (0x4B)

前置文字 “Preamble” / 後置文字 “Postamble” / プリフィックス “Prefix” / サフィックス “Suffix”

項目	値	内容
前置文字 “Preamble” Data0	00 (0x00)	NULL
前置文字 “Preamble” Data1	00 (0x00)	NULL
後置文字 “Postamble” Data0	0D (0x0D)	CR
後置文字 “Postamble” Data1	0A (0x0A)	LF
プリフィックス “Prefix”	00 (0x00)	NULL
サフィックス “Suffix”	00 (0x00)	NULL

## 設定用バーコード

### 設定開始/設定終了

#### 設定開始

設定モードを開始します。  
上昇メロディが鳴ります。  
本体上部の確認 LED が点滅します。



#### 設定終了

設定モードを終了します。  
下降メロディが鳴ります。  
本体上部の確認 LED が消灯します。



### 初期化

#### インターフェースの初期化

USB キーボードインターフェース  
PS/2 キーボードインターフェース  
インターフェースが USB キーボードインターフェースに設定されます。また、**動作環境**が出荷時の初期値に設定されます。\*  
ブザーが 5 回鳴った後、下降メロディが鳴り、設定モードが終了します。



\*USB と PS/2 共通の設定用バーコードです。キーボードレイアウトは US に設定されます。

#### 機能の初期化

**動作環境以外の設定**が出荷時の初期値に設定されます。  
ブザーが 5 回鳴った後、下降メロディが鳴り、設定モードが終了します。



### 設定中止

#### 設定中止

設定モードを中止します。  
それまでに設定を行っていた内容がキャンセルされます。  
メロディが鳴り、設定モードが終了します。



設定開始



設定終了



動作環境(1)

◆印は、出荷時初期設定です。

端末の種類

IBM PC/AT 互換機 (DOS/V) ◆	 * D F A *
-------------------------	---



CapsLock

<p>英大文字 ◆</p> <p>PC のキーボードが大文字入力の状態でバーコードを読み取ると、バーコードに含まれる英大文字は、大文字で入力されます。</p>	 * D D A *
<p>英小文字</p> <p>PC のキーボードを小文字入力の状態でバーコードを読み取ると、バーコードに含まれる英大文字は、<b>大文字</b>で入力されます。*</p>	 * D D B *
<p>Alt+Keypad(テンキー)モード **</p> <p>Alt を押しながらテンキーで1~4桁の番号を入力し Alt を離して文字入力するモード。</p>	 * D D D *

\*一般にコンピュータの起動直後は小文字入力 (CapsLock の LED 消灯) の状態です。

\*\*Windows がサポートする入力方法です。また、アプリケーションによっては使用できません。

キーボードのレイアウト

USA キーボード (US) ◆	 * D G A *
日本語キーボード	 * D G M *

ファンクションキー変換

変換しない ◆	 * D A B *
<p>変換する</p> <p>Code128 などで表示されたアスキーコードの“0x00”から“0x1F”までを、スキャナーに割り当てられたファンクションキーに変換してコンピュータに出力します。*</p>	 * D B B *

\*割り当てられるキーについては「アスキーコード表」を参照して下さい。

設定開始



設定終了



動作環境 (2)

◆印は、出荷時初期設定です。

キーボード検査(キーボード・シミュレーション)

<p>無効 ◆</p> <p>[備考] 通常はこちらの設定でご使用ください。</p>	
<p>有効</p> <p>[対象機種] <b>AC-700-K, AC-800K, AC-900B-K</b> AC-XXX-U には使用しないで下さい。</p> <p>[備考] スキャナをノート型コンピュータに接続する時など、Y字型分岐ケーブルのメスコネクタにキーボードを接続しない時に設定します。</p>	

値設定

<p>文字間遅れ時間 値設定: 00-99 / 単位: 1 ミリ秒 初期値: 02 (2 ミリ秒)</p> <p>出力するバーコードデータのキャラクタ(文字)ごとの間に時間を設定します。処理速度が遅いコンピュータやアプリケーションに適用する設定です。</p>	
<p>データ間遅れ時間 値設定: 00-99 / 単位: 10 ミリ秒 初期値: 00 (0 ミリ秒)</p>	

数字キーの出力位置

<p>アルファベティック ◆</p> <p>数字キャラクタををキーボード左側の文字キーとして出力します。</p>	
<p>テンキー入力</p> <p>数字キャラクタをキーボード右側のテンキーの数字キーとして出力します。 注: NumLock が On の場合に有効です。</p>	

設定開始



設定終了



スキャナー制御(1)

◆印は、出荷時初期設定です。

起動時の音

鳴らさない	
鳴らす ◆ スキャナーに電源が入り、正常に起動すると音（メロディ）が鳴ります。	

起動時の自動トリガー

無効 ◆	
有効 スキャナーに電源が入り正常に起動した後に、自動でトリガースイッチをオンの状態にします。	

正読表示 LED

点灯しない	
点灯する ◆ バーコードを読み取ると、本体上部の確認 LED が点灯します。	

正読通知ブザー

鳴らさない	
鳴らす ◆	

設定開始



設定終了



スキャナー制御(2)

◆印は、出荷時初期設定です。

スキャニング・モード

トリガーSW（スイッチ）による読取窓の光源赤色 LED のオン／オフの動作を設定します。

<p>1 回読み取り （正読後オフ） *英文取扱説明書では初期値ですが印刷ミスです</p> <p>正読後に読取窓の赤色 LED がオフ。 および、「タイムアウト・オフ」の指定時間の経過後に赤色 LED がオフ。</p>	 <p style="text-align: center;">* C A B *</p>
<p>モーメンタリ</p> <p>トリガーSW を押している間のみ読取窓の赤色 LED がオン。</p>	 <p style="text-align: center;">* C A C *</p>
<p>オルタネート</p> <p>トリガーSW を押すごとに読取窓の赤色 LED がオン／オフを繰り返す。</p>	 <p style="text-align: center;">* C A D *</p>
<p>タイムアウト・オフ ◆</p> <p>指定時間の経過後に読取窓の赤色 LED がオフ。 初期値：15 （15 秒） 「値設定」の「正読待ち時間」で値を設定します。</p>	 <p style="text-align: center;">* C A E *</p>
<p>タイムアウト通知</p> <p>指定時間の経過後に読取窓の赤色 LED が点滅。 初期値：15 （15 秒） 「値設定」の「正読待ち時間」で値を設定します。</p>	 <p style="text-align: center;">* C A F *</p>
<p>連続読み取り</p> <p>読取窓の赤色 LED が常時点灯。</p>	 <p style="text-align: center;">* C A G *</p>

設定開始



設定終了



スキャナー制御(3)

◆印は、出荷時初期設定です。

コード識別子の付加

付加しない ◆	
付加する	

コード識別子の位置

バーコードデータの前 ◆	
バーコードデータの後	

読み取り一致（照合設定）

<p>禁止 ◆</p> <p>「機能の初期化」での初期値は禁止です。</p>	
<p>許可</p> <p>注：製品出荷時は許可に設定済みです。 スキャナー制御(4)で値を設定します。 許可に設定すると、読み取りの信頼性が向上し、誤読が減少します。そのかわり、品質の低いバーコードは読み取り速度が遅くなります。</p>	

設定開始



設定終了





スキャナー制御(4)

値設定

<p>ブザー音量 値設定：01-10 初期値：05</p>	 * B A C *
<p>ブザー時間 値設定：01-99 / 単位：10 ミリ秒 初期値：06 (60 ミリ秒)</p>	 * B A E *

<p>正読待ち時間 (スタンバイ・タイム) 値設定：01-99 / 単位：1 秒 初期値：15 (15 秒)</p>	 * B A F *
<p>読み取り窓の赤色 LED 点灯時間の設定。 正読遅れ時間 値設定：01-99 / 単位：10 ミリ秒 初期値：05 (50 ミリ秒)</p> <p>同一のバーコードを読み取るまでの時間指定。</p>	 * B A I *

<p>アドオンの待ち時間 値設定：01-99 / 単位：10 ミリ秒 初期値：50 (500 ミリ秒)</p> <p>EAN/JAN のアドオン 2 桁および 5 桁を認識するまでの時間設定。</p>	 * B A K *
--	---

<p>読み取り一致回数 (照合回数) 値設定：01-10 / 単位：回 初期値：01 (1 回)</p> <p>スキャナー制御(3)「読み取り一致」が許可の場合に設定します。回数を増やすと誤読が減少し信頼性が向上しますが、そのかわり品質の低いバーコードは読み取り速度が遅くなります。</p>	 * B A J *
---	---



設定開始



設定終了



バーコードの読取条件

UPC-A

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取らない	
読み取る ◆	

アドオン読み取り

読み取らない ◆	
読み取る 2桁のみ	
読み取る 5桁のみ	
読み取る	

アドオン待ち

無効 ◆	
有効	

設定開始



設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

先頭の“0”削除

<p>削除しない ◆</p> <p>桁数調整用の“0”（ゼロ）をUPC-Aの先頭に付加して13桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p>	
<p>削除する</p> <p>ナンバーシステムキャラクタ（先頭桁）が“0”（ゼロ）の時は、ナンバーシステムキャラクタ“0”を削除して11桁で出力します*。</p> <p>ナンバーシステムキャラクタ（先頭桁）が“0”以外（1-9）の時は、12桁をそのまま出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p> <p>インスタコードなどの“0”が連続するUPC-Aは、先頭から連続する“0”を全て削除します。</p>	

チェックデジットの出力

<p>出力しない</p>	
<p>出力する ◆</p>	

値設定

<p>先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）</p>	
<p>後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）</p>	
<p>コード識別子 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：41（アルファベット“A”）</p>	

設定開始





UPC-E

設定終了





◆印は、出荷時初期設定です。



コード読み取り

読み取らない	
読み取る ◆	

アドオン読み取り

読み取らない ◆	
読み取る 2桁のみ	
読み取る 5桁のみ	
読み取る	

アドオン待ち

無効 ◆	
有効	

設定開始





設定終了





◆印は、出荷時初期設定です。

先頭の“0”削除



<p>削除しない ◆</p> <p>8桁で出力します。 (チェックデジットを「出力する」設定の場合)</p>	 <p>* E H A *</p>
<p>削除する</p> <p>ナンバーシステムキャラクタ（先頭桁）の“0”を削除して出力します。*</p>	 <p>* E H B *</p>

\*インスタアコードなどの“0”が連続するUPC-Eは、先頭から連続する“0”を全て削除します。

“0”付加フォーマット（13桁拡張）

<p>付加しない ◆</p>	 <p>* E F A *</p>
<p>付加する</p> <p>データに“0”を挿入し、13桁に変換してデータを出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p>	 <p>* E F B *</p>

チェックデジットの出力

<p>出力しない</p>	 <p>* E I A *</p>
<p>出力する ◆</p>	 <p>* E I B *</p>

値設定

<p>先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）</p>	 <p>* B A Q *</p>
<p>後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）</p>	 <p>* B A R *</p>
<p>コード識別子 0 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：45（アルファベット”E”）</p>	 <p>* A A B *</p>
<p>コード識別子 1 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：00（無し）</p>	 <p>* A A C *</p>

設定開始



EAN-13, JAN-13

設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取らない	* E K A *
読み取る ◆	* E K B *

アドオン読み取り

読み取らない ◆	* E L A *
読み取る 2桁のみ	* E L B *
読み取る 5桁のみ [備考] 新雑誌コード JAN-13 アドオン5桁を読み取り、 13桁と5桁を連続して合計18桁で出力します。 次に、「アドオン待ち」を「有効」に設定しま す。	* E L C *
読み取る	* E L D *

アドオン待ち

無効 ◆	* E M A *
有効 [備考] JAN-13の隣のアドオンコードを認識するまで 読み取りを待ちます。	* E M B *

設定開始





設定終了

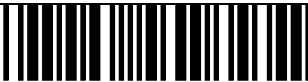



◆印は、出荷時初期設定です。

先頭の“0”削除

削除しない ◆	
削除する	

ISBN / ISSN 変換

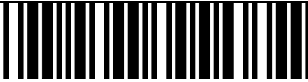


変換しない ◆	
変換する 先頭が”978”で始まる13桁の書籍コードを、 10桁のISBNコードに変換します。*	

\*先頭2桁”97”を取り除き、最終1桁をISBN用チェックデジットに変換します。

チェックデジットの出力

出力しない	
出力する ◆	

値設定

先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00 (削除なし)	
後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00 (削除なし)	
コード識別子 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：46 (F)	

設定開始



EAN-8, JAN-8

設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取らない	* E S A *
読み取る ◆	* E S B *

アドオン読み取り

読み取らない ◆	* E T A *
読み取る 2桁のみ	* E T B *
読み取る 5桁のみ	* E T C *
読み取る	* E T D *

アドオン待ち

無効 ◆	* E U A *
有効	* E U B *

設定開始



設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

先頭の“0”削除

削除しない ◆	
削除する	

“0”付加フォーマット（13桁拡張）

付加しない ◆	
付加する データの先頭に“0”を付加し、13桁に変換してデータを出力します*。	

\*チェックデジットを「出力する」設定の場合

チェックデジットの出力

出力しない	
出力する ◆	

値設定

先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	
後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	
コード識別子 0 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：46（F）	
コード識別子 1 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：46（F）	



設定開始





Code39

設定終了





◆印は、出荷時初期設定です。



コード読み取り

読み取らない	
読み取る ◆	

出力フォーマット

標準 ◆	
フルアスキー [備考] FullAscii Code39 として読み取りと出力を実行します。	

スタート/ストップの出力

出力しない ◆	
出力する [備考] Code39 のスタート/ストップは“*”。	

チェックデジットの検査

検査しない ◆	
検査する [備考] チェックデジットが含まれる Code39 のみ読み取ります。 Code39 のチェックデジット算出方法はモジュラス 43 です。	

設定開始



設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

チェックデジットの出力

<p>出力しない ◆</p>	
<p>出力する</p> <p>[備考] チェックデジットの検査の設定を「検査する」に設定した時に使用できる設定です。</p>	

値設定

<p>先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00 (削除なし)</p>	
<p>後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00 (削除なし)</p>	
<p>最短の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：00 (桁数の設定なし)</p>	
<p>最長の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：00 (桁数の設定なし)</p>	
<p>コード識別子 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：4D (M)</p>	

設定開始





設定終了



Interleaved 2 of 5 (インターリブド2オブ5), ITF

◆印は、出荷時初期設定です。



コード読み取り

読み取らない ◆	 <p>* F K A *</p>
読み取る	 <p>* F K B *</p>

チェックデジットの検査

検査しない ◆	 <p>* F N A *</p>
検査する [備考] チェックデジットが含まれる Interleaved2of5 のみ読み取ります。チェックデジット算出方法 はモジュラス 10 ウェイト 3 です。	 <p>* F N B *</p>

チェックデジットの出力

出力しない ◆	 <p>* F O A *</p>
出力する [備考] チェックデジットの検査の設定を「検査する」 に設定した時に使用できる設定です。	 <p>* F O B *</p>

設定開始



設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

値設定

<p>先頭桁の削除          値設定：00-15 / 単位：1桁          初期値：00 (削除なし)</p>	 * B B C *
<p>後尾桁の削除          値設定：00-15 / 単位：1桁          初期値：00 (削除なし)</p>	 * B B D *
<p>最短の読み取り桁数          値設定：02-48 / 単位：1桁          初期値：06 (6桁)</p> <p>[備考]          Interleaved2of5 の桁数は偶数桁です。          値設定は偶数を設定します。</p>	 * B B A *
<p>最長の読み取り桁数          値設定：02-48 / 単位：1桁          初期値：00 (桁数の設定なし)</p> <p>[備考]          Interleaved2of5 の桁数は偶数桁です。          値設定は偶数を設定します。</p>	 * B B B *
<p>コード識別子          値設定：00-7F / アスキー値          初期値：49 (アルファベット”I”)</p>	 * A A H *

設定開始





設定終了



NW-7 (Codabar)

◆印は、出荷時初期設定です。



コード読み取り

読み取らない	
読み取る ◆	

スタート/ストップの出力種類

ABCD / ABCD ◆	
abcd / abcd	
ABCD / TN*E	
Abcd / tn*e	

スタート/ストップの一致検査

検査しない ◆	
検査する	

設定開始



設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

スタート/ストップの出力

出力しない ◆	
出力する	

チェックデジットの検査

検査しない ◆	
検査する  [備考] チェックデジットが含まれる NW-7 (Codabar) のみ読み取ります。 チェックデジット算出方法はモジュラス 16。 日本国内ではモジュラス 16 以外の算出方法が多く利用されていますので、ご使用前によくご確認ください。	

チェックデジットの出力

出力しない ◆	
出力する  [備考] チェックデジットの検査の設定を「検査する」に設定した時に使用できる設定。	

設定開始



設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

値設定

<p>先頭桁の削除          値設定：00-15 / 単位：1桁          初期値：00（削除なし）</p>	 * B B S *
<p>後尾桁の削除          値設定：00-15 / 単位：1桁          初期値：00（削除なし）</p>	 * B B T *
<p>最短の読み取り桁数          値設定：01-48 / 単位：1桁          初期値：04（4桁）</p>	 * B B Q *
<p>最長の読み取り桁数          値設定：01-48 / 単位：1桁          初期値：00（桁数の設定なし）</p>	 * B B R *
<p>コード識別子          値設定：00-7F / アスキー値          初期値：4E（アルファベット”N”）</p>	 * A A L *

設定開始



設定終了



Code128

◆印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取らない	* G M A *
読み取る ◆	* G M B *

チェックデジットの検査

記載省略。

Code128 の仕様では、チェックデジットは必ず含むことが規定されています。

出荷時の「チェックデジットを検査する」の設定のままでご使用ください。(デフォルトです)

チェックデジットの算出方法はモジュラス 103 ウェイト 3。

チェックデジットは1桁。

一般に、バーコードラベルの目視確認文字にチェックデジットは表示されていません。

値設定

<p>先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00 (削除なし)</p>	* B B W *
<p>後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00 (削除なし)</p>	* B B X *
<p>最短の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：00 (桁数の設定なし)</p> <p>[備考] Code128 のチェックデジット (1桁分) を含む 値 (桁数) を設定します。</p>	* B B U *
<p>最長の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：00 (桁数の設定なし)</p> <p>[備考] チェックデジット1桁を含む値 (桁数) を指定 します。</p>	* B B V *
<p>コード識別子 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：4B (アルファベット"K")</p>	* A A M *



設定開始



設定終了



前置文字／後置文字／プリフィックス／サフィックス

◆印は、出荷時初期設定です。

前置文字の付加 (プリアンブル” Preamble” )

付加しない ◆	* I E A *
付加する	* I E B *

前置文字 (プリアンブル” Preamble” ) のデータ

データ 0 値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	* A A Z *
データ 1 値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	* A B A *

後置文字 (ポスタンプル” Postamble” ) の付加

付加しない	* I F A *
付加する ◆	* I F B *

後置文字 (ポスタンプル” Postamble” ) のデータ

データ 0 値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 0D (“CR”)	* A B B *
データ 1 値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 0A (“LF”)	* A B C *

設定開始



設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

プリフィックス” Prefix”

付加しない ◆	
付加する	
データのクリア 設定したプリフィックスデータを消去します。	

プリフィックス・データ” PrefixData”

データ 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：00 （値なし）  [備考] データの最大設定数は 15 キャラクタまで。	
--	--

サフィックス” Suffix”

付加しない ◆	
付加する	
データのクリア 設定したサフィックスデータを消去します。	

サフィックス・データ” SuffixData”

データ 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：00 （値なし）  [備考] データの最大設定数は 15 キャラクタまで。	
--	--

設定開始



設定終了




データの挿入

◆印は、出荷時初期設定です。

挿入 1

挿入位置 値設定 : 01-48 / 単位 : 1 桁 初期値 : 00 (値なし)	 BCW
データ 1 値設定 : 01-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 ABL
データ 2 値設定 : 01-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 ABM



挿入 2

挿入位置 値設定 : 01-48 / 単位 : 1 桁 初期値 : 00 (値なし)	 BCX
データ 1 値設定 : 01-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 ABN
データ 2 値設定 : 01-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 ABO

挿入 3

挿入位置 値設定 : 01-48 / 単位 : 1 桁 初期値 : 00 (値なし)	 BCY
データ 1 値設定 : 01-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 ABP
データ 2 値設定 : 01-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 ABQ

挿入 4

挿入位置 値設定 : 01-48 / 単位 : 1 桁 初期値 : 00 (値なし)	 BCZ
データ 1 値設定 : 01-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 ABR
データ 2 値設定 : 01-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 ABS

設定開始



設定終了



◆印は、出荷時初期設定です。

挿入グループ

UPC-A	
UPC-E	
EAN-13 / JAN-13	
EAN-8 / JAN-8	
Code39	
Interleaved2of5	
NW-7 (Codabar)	
Code128	

データの挿入 設定の説明

概要：読み取るバーコードに、任意の値を挿入する設定です。

[表-設定の用語と意味]

挿入 1~4	挿入の定義。 挿入 1~4 それぞれに挿入位置、データ 1、データ 2 を設定。								
挿入位置	値を挿入する桁位置（10 進数）を設定します。  例：バーコードデータ「1234」の場合。二重線が挿入位置の設定値 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>1</td><td>01</td><td>2</td><td>02</td><td>3</td><td>03</td><td>4</td><td>04</td> </tr> </table>	1	01	2	02	3	03	4	04
1	01	2	02	3	03	4	04		
データ 1~2	挿入するキャラクタの値（アスキー）を設定します。								
挿入グループ	挿入 1~4 を適用するバーコード規格を設定します。 挿入は 1 種類のバーコード規格に対し 2 つまでが上限です。								

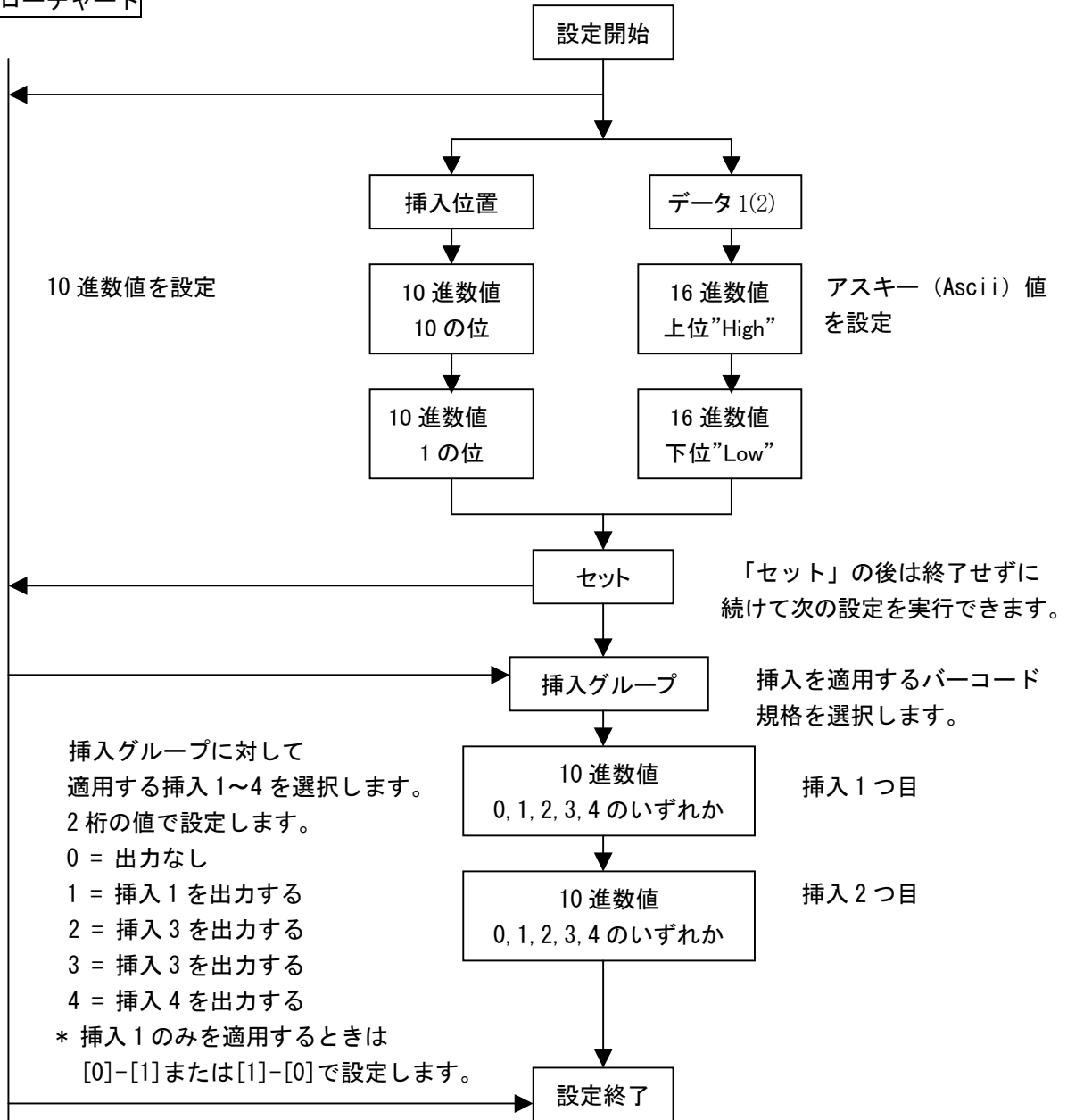
[表-出力フォーマット]（例と併記）

Code39「1234567890」に挿入を設定した例。5 桁目の後に「TAB、A」挿入、8 桁目の後に「TAB、B」挿入。

バーコードデータ		0123456789						
フォーマット	バーコードデータ	挿入 1 *挿入 1~4 のいずれか		バーコードデータ	挿入 2 *挿入 1~4 のいずれか		バーコードデータ	
		データ 1	データ 2		データ 1	データ 2		
例	設定値	-	09 (0x09)	41 (0x41)	-	09 (0x09)	42 (0x42)	-
例	出力キャラクタ	12345	TAB	A	678	TAB	B	90

データの挿入 設定の手順

フローチャート



◆印は、出荷時初期設定です。

データの挿入 設定の例

Code39「0123456789」に挿入を設定。

5桁目の後に「TAB、A」挿入、8桁目の後に「TAB、B」挿入。

[設定後の出力データフォーマット]

12345	TAB	A	678	TAB	B	90
-------	-----	---	-----	-----	---	----

\*二重線が挿入データ

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了 (16進/10進数値のページにも記載)	設定開始
2	挿入 1	挿入位置 (BCW)
3	16進/10進数値	"0"
4	16進/10進数値	"5"
5	16進/10進数値	セット
6	挿入 1	データ 1 (ABL)
7	16進/10進数値	"0"
8	16進/10進数値	"9"
9	16進/10進数値	セット
10	挿入 1	データ 2 (ABM)
11	16進/10進数値	"4"
12	16進/10進数値	"1"
13	16進/10進数値	セット
14	挿入 2	挿入位置 (BCX)
15	16進/10進数値	"0"
16	16進/10進数値	"8"
17	16進/10進数値	セット
18	挿入 2	データ 1 (ABN)
19	16進/10進数値	"0"
20	16進/10進数値	"9"
21	16進/10進数値	セット
22	挿入 2	データ 2 (ABO)
23	16進/10進数値	"4"
24	16進/10進数値	"2"
25	16進/10進数値	セット
26	挿入グループ	Code39 (BDG) **
27	16進/10進数値	"1" *
28	16進/10進数値	"2" *
29	16進/10進数値	セット
30	設定の開始と終了 (16進/10進数値のページにも記載)	設定終了

\* 挿入 1 のみを適用する場合は、順番 27 を "0"、順番 28 を "1" に設定します。

\*\* 複数のバーコード規格に挿入を設定できます。

例えば、Code128 にも同じ挿入設定を適用する場合は "挿入グループ Code39 (BDG)"

"挿入グループ Code128 (BDM)" と連続で設定用バーコードを読み取ります。

他のバーコード規格に異なる挿入の設定を実行するには未設定の挿入 3、挿入 4 を

設定してください。

## アスキーコード表 “Ascii Code Table”

L \ H	0	1	0	1	2	3	4	5	6	7
0	Null	なし	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	Up	F1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	Down	F2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	Left	F3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	Right	F4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	PageUp	F5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	PageDown	F6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	なし	F7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BackSpace	F8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	Tab	F9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	なし	F10	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	Home	Esc	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	End	F11	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	Enter	F12	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	Insert	Ctrl+	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	Delete	Alt+	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

ファンクションキー変換

[アスキーコード表について]

言葉の意味は次の通りです。 H=High (16 進数上位) L=Low (16 進数下位)

[文字について]

- ・ “0x5C” は ISO 規格では “バックslash” ですが日本語環境では ANK に基づく “¥” (円記号) になります。
- ・ “0x7E” は ISO 規格では “オーバーライン” ですが日本語 Windows 環境では “~ (チルダ)” が表示されます。

[網掛け部分について]

- ・ 前置文字(プリアンブル)、後置文字(ポスタンプル)、プリフィックス、サフィックスに “0x01” から “0x1F” までの値を設定すると、表に示したファンクションキーに変換されます。\*
- ・ 「Ctrl+」「Alt+」は単独では使用できません。次に続く 1 キーと組み合わせてアプリケーションに割り当てられたショートカットキーとして設定します。

例：プリフィックスに “Ctrl+f” を設定する

[設定開始]-[プリフィックス:付加する]-[プリフィックスデータ:データ]-  
[16 進/10 進数値:1 - E - 6 - 6]-[セット]-[設定終了]


\*前置文字(プリアンブル)、後置文字(ポスタンプル)、プリフィックス、サフィックスに “0x01” から “0x1F” までのファンクションキーを設定する場合は、設定項目「ファンクションキー変換」は「変換しない」(初期値)のままに設定してください。

「ファンクションキー変換」はスキャナーが読み取ったバーコード (Code128 など) に含まれる “0x01” から “0x1F” までの値をファンクションキーに変換する設定です。

















16進 / 10進数値 および設定開始、設定終了

値設定に使用する設定用バーコード

設定開始

設定モードの開始。	
-----------	--

16進 / 10進数値 値設定の設定項目で、アスキー値および10進数の値を設定します。

0	 * % 0 0 *	8	 * % 0 8 *
1	 * % 0 1 *	9	 * % 0 9 *
2	 * % 0 2 *	A	 * % 0 A *
3	 * % 0 3 *	B	 * % 0 B *
4	 * % 0 4 *	C	 * % 0 C *
5	 * % 0 5 *	D	 * % 0 D *
6	 * % 0 6 *	E	 * % 0 E *
7	 * % 0 7 *	F	 * % 0 F *

セット

16進/10進数値を設定。	 * % 0 K *
---------------	---

設定終了

設定モードの終了。	
-----------	--



付録

1. 推奨する設定

出荷時の設定です (AC-700、AC-800) \*

設定開始 メロディが鳴ります。	
インターフェースの選択 USB キーボードインターフェース ブザーが5回鳴り、メロディが鳴ります。 一度設定モードが終了します。	 * / \$ % C O O *
設定開始 メロディが鳴ります。	
機能の初期化 ブザーが5回鳴り、メロディが鳴ります。 一度設定モードが終了します。	 * / \$ % D E F *
設定開始 メロディが鳴ります。	
端末の種類 IBM PC/AT 互換機 (DOS/V)	 * D F A *
キーボードレイアウト 日本語キーボード	 * D G M *
CapsLock 英小文字	 * D D B *
Interleaved 2of 5 読み取る	 * F K B *
設定終了 メロディが鳴ります。	

\*AC-900B は上記設定に「スキヤニングモード/モーメンタリ」を追加したものです。

## 2. よく使う設定の例

### [設定内容]

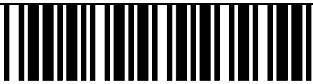

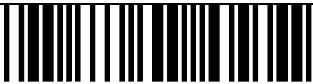


バーコードの後に TAB を付加する。

初期設定では後置文字に ENTER (CR/LF) が付加されています。初期設定の ENTER から TAB に変更します。

設定開始	
後置文字 データ 0	 * A B B *
値設定 (アスキー上位 "High") 0	 * % 0 0 *
値設定 (アスキー下位 "Low") 9	 * % 0 9 *
セット	 * % O K *
設定終了	

### [設定内容]

上記の設定例で設定した TAB を ENTER に戻す。

設定開始	
後置文字 データ 0	 * A B B *
値設定 (アスキー上位 "High") 0	 * % 0 0 *
値設定 (アスキー下位 "Low") D	 * % 0 D *
セット	 * % O K *
設定終了	

[参考] Full Ascii CODE39とは

Full Ascii CODE39は、CODE39で、アスキーの 128文字を表示できるように拡張したバーコードの規格です。

CODE39のキャラクタ 1文字または 2文字の組み合わせにより、アスキーのキャラクタ 1文字を表します。

[Full Ascii CODE39 表 ( 1 / 2 ) ]

「 F39」は Full Ascii CODE39を表しています



























	HIGH	0	F39	1	F39	2	F39	3	F39
LOW									
0		NUL	%J	DLE	\$P	SP	SPACE	0	0
1		SCH	\$A	DC1	\$Q	!	/A	1	1
2		STX	\$B	DC2	\$R	"	/B	2	2
3		ETX	\$C	DC3	\$S	#	/C	3	3
4		EOT	\$D	DC4	\$T	\$	/D	4	4
5		ENQ	\$E	NAK	\$U	%	/E	5	5
6		ACK	\$F	SYN	\$V	&	/F	6	6
7		BEL	\$G	ETB	\$W	'	/G	7	7
8		BS	\$H	CAN	\$X	(	/H	8	8
9		HT	\$I	EM	\$Y	)	/I	9	9
A		LF	\$J	SUB	\$Z	*	/J	:	/Z
B		VT	\$K	ESC	%A	+	/K	;	%F
C		FF	\$L	FS	%B	,	/L	<	%G
D		CR	\$M	GS	%C	-	-	=	%H
E		SO	\$N	RS	%D	.	.	>	%I
F		SI	\$O	US	%E	/	/O	?	%J

[Full AsciiCODE39 表 ( 2 / 2 ) ]

	HIGH								
LOW		4	F39	5	F39	6	F39	7	F39
0		@	%V	P	P	`	%W	p	+P
1		A	A	Q	Q	a	+A	q	+Q
2		B	B	R	R	b	+B	r	+R
3		C	C	S	S	c	+C	s	+S
4		D	D	T	T	d	+D	t	+T
5		E	E	U	U	e	+E	u	+U
6		F	F	V	V	f	+F	v	+V
7		G	G	W	W	g	+G	w	+W
8		H	H	X	X	h	+H	x	+X
9		I	I	Y	Y	l	+I	y	+Y
A		J	J	Z	Z	j	+J	z	+Z
B		K	K	[	%K	k	+K	{	%P
C		L	L	¥	%L	l	+L		%Q
D		M	M	]	%M	m	+M	}	%R
E		N	N	^	%N	n	+N	~	%S
F		O	O	_	%O	o	+O	DEL	%T

[FullCodeCODE39で表した Asciiの制御コード]

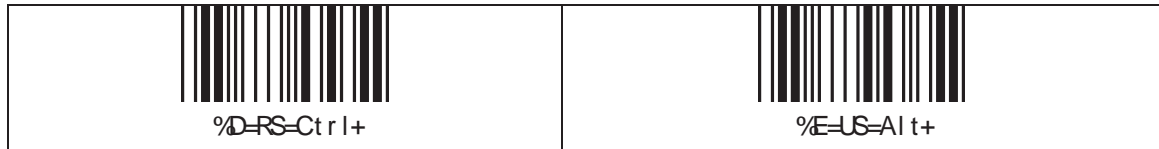
文字の左側は FullAsciiCODE39 真中は制御コード。右側は置き換えられるキー。

 \$A=SH=UP	 \$K=VT=HOME	 \$Q=DC1= F1
 \$B=STX=DOWN	 \$L=FF= END	 \$R=DC2= F2
 \$C=ETX=LEFT	 \$M=CR= ENTER	 \$S=DC3= F3
 \$D=EOT=RIGHT	 \$N=SO= INSERT	 \$T=DC4= F4
 \$E=ENQ=PageUp	 \$O=SI= DELETE	 \$U=NAK= F5
 \$F=ACK=PageDown	 %A=ESC=ESC	 \$V=SYN= F6
 \$G=BS=BackSpace		 \$W=ETB= F7
 \$H=HT= TAB		 \$X=CAN= F8
		 \$Y=EM= F9
		 \$Z=SUB= F10
		 %B=FS= F11
		 %C=GS= F12

[単独では機能しない制御コード]



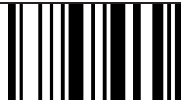























CtrlとAltのみのバーコードでは、読み取っても機能しません。

他のキャラクタ 1文字と合わせたときに機能します( OSまたはアプリケーションソフトで割り当てられたショートカットなど)。



[CODE128で表した Asciiの制御コード ]

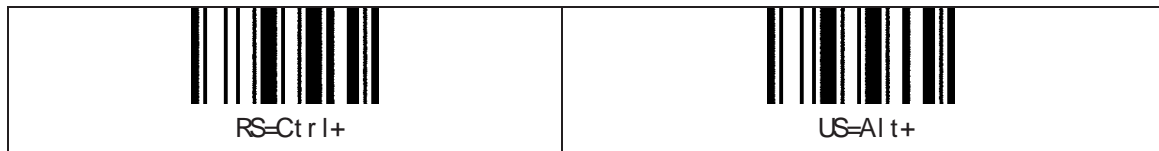
文字の左側は制御コード。右側は置き換えられるキー

 SOH= UP	 VT= HOME	 DC1= F1
 STX= DOWN	 FF= END	 DC2= F2
 ETX= LEFT	 CR= ENTER	 DC3= F3
 EOT= RIGHT	 SO=INSERT	 DC4= F4
 ENQ= PageUp	 SI= DELETE	 NAK= F5
 ACK= PageDown	 ESC= ESC	 SYN= F6
 BS= BackSpace		 ETB= F7
 HT= TAB		 CAN= F8
		 EM= F9
		 SUB= F10
		 FS= F11
		 GS= F12

[単独では機能しない制御コード]

CtrlとAltのみのバーコードでは、読み取っても機能しません。

他のキャラクタ 1文字と合わせたときに機能します( OSまたはアプリケーションソフトで割り当てられたショートカットなど)。





【発行】  
株式会社エイポック  
〒230-0051  
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央  
4-36-1  
ナイス第2ビル 5F  
TEL:045-508-5201  
FAX:045-508-5202  
URL:<http://www.a-poc.co.jp/>

Rev1.9 Oct 2011

---